

JENESYS2020 日メコン・オンライン交流
（海洋プラスチックゴミ対策）の記録
（対象国：カンボジア・タイ・ベトナム・ラオス）

1. 概要

【目的】カンボジア、タイ、ベトナム、ラオスの若手行政官及び青少年が日本の都市ゴミ処理のシステム、プラスチックリサイクルや代替素材に関する技術、それらを支える行政の制度等を学ぶことにより、自国の廃棄物管理改善に向けた知見を深めることを主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】 カンボジア、タイ、ベトナム、ラオスの行政官及び大学生 計 48 名

【訪問地】 鹿児島県、東京都、京都府、神奈川県

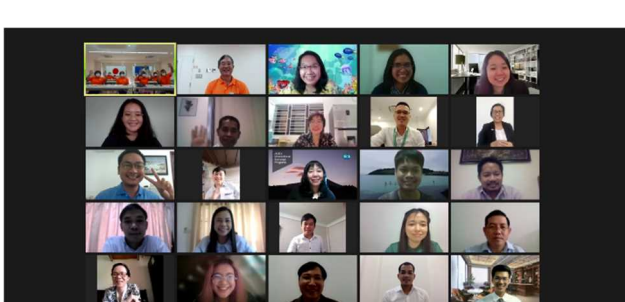
【日程】

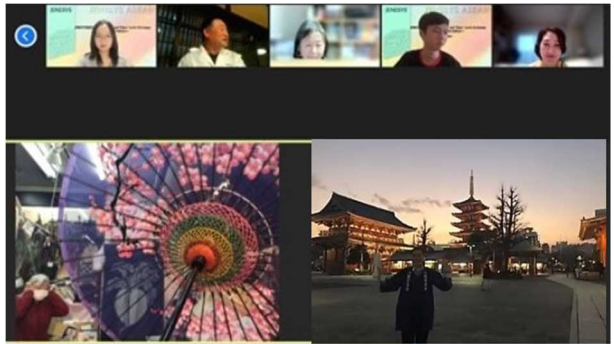
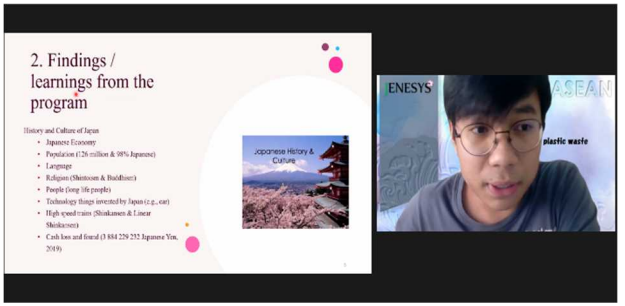
日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下の参加人数：37 名		
2021 年 8 月 6 日 鹿児島県 与論町	【ウェビナー・質疑応答】 「与論島における行政としての海洋プラスチックゴミ対応について」 講師：鹿児島県与論町役場環境課 主事 光 俊樹氏 【ウェビナー・質疑応答】 「海謝美の活動紹介」DVD 視聴/講義 講師：海謝美（うんじゃみ）代表 阿多 尚史氏	回収したゴミの処理方法や、ボランティア団体のモチベーションアップに対して、行政としてどのように関わっているのか等、質問が多数ありました。 海謝美の活動について学び、「同じ課題を抱える自国でも、同様のボランティア活動の実践につなげたい」というコメントがありました。
以下 6 日間の参加人数：11 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 1 月 22 日 ～	【動画視聴】 1. 外務省挨拶 2. 南三陸町からのメッセージ 3. ホストタウンの取り組み 4. 日本語学習	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。
2022 年 1 月 25 日	【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】 1. 自己紹介（グループ別）	最初に自己紹介をしたことで和やかな雰囲気が出来ました。日本理解講義では、「人口が東京に集中している現状に対して、政

	2. 日本理解講義・質疑応答 「Japan Today」 講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏 3. グループ別交流	府はどのような対策を講じていますか」、 「日本では、どのような技術を利用して廃棄物からエネルギーを生み出していますか」、「日本の高齢化社会に対する日本の政策について教えてください」など多くの質問がありました。参加者から講義内容に対してポジティブな意見があり、初日としてよいスタートでした。グループ別交流では、リーダー、サブリーダーを選出しました。
2022 年 1 月 26 日 東京都 台東区	【ウェビナー・視察】 「和食の魅力ツアー」 協同組合浅草商店連合会 1. ビデオ視聴：NHK「新日本風土記」協同組合浅草商店連合会 2. プレゼンテーション：浅草の紹介 協同組合浅草商店連合会 理事 西山 繁夫氏 3. 和食店舗の紹介 茶寮一松 宮代 清子氏 桜鍋中江 中江 白志氏 駒形どぜう 渡辺 隆史氏 4. 各店舗の店主との交流会 5. ライブ中継：浅草仲見世・浅草寺・浅草神社	プログラムはじめに浅草における問題への取り組みをとりあげた NHK 番組のビデオを上映しながら、浅草商店連合会より、観光、芸能、職人、仲見世、浅草寺など浅草の魅力や歴史的背景について紹介を受けました。次に歴史ある老舗和食店舗の店主による店舗紹介・グループに分かれた交流会を行いました。参加者からは、「古い建物を維持しながら経営で気を付けることはありますか」「馬肉を使った料理は、他の食材に比べて高価ですか」などビデオや写真を見て感じた質問を多くいただきました。最後のライブ中継では、浅草仲見世から浅草寺境内、浅草神社まで中継で繋いで紹介され、短い時間ながら、参加者から 150 件ほどのコメントが寄せられ、オンライン上でありながらも楽しく賑わい、おいに盛り上がったプログラムとなりました。
2022 年 1 月 27 日 京都府 京都市	【ウェビナー・質疑応答】 「人類の進化から学ぶ SDG's」 講師：京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 古澤 拓郎氏 1. 講義 2. 質疑応答	人類の進化から自然界の不平等、SDGs へのアプローチ方などの講義を受け、参加者は質問を多く挙げるなど積極的に学ぶ姿勢が感じられました。「SDGs の課題のうち、どれを優先的に取り組むべきか」「SDGs を継続するための最善の解決策は何か」などの質問が次々とありました。深い考察を交えた講義内容に対して、多くの参加者から、貴重な学びの機会だったとの意見がありました。

2022 年 1 月 29 日 神奈川県 横浜市	【自治体訪問・交流】 「e スポ GOMI の取り組みについて」 1. 中継視聴 2. 講義 3. ワークショップ 4. 発表	スムーズでテンポのよい講義に、参加者は積極的に関わり、興味をもって聞き入っていました。ゴミの問題は、今回の参加者にとって最大の関心課題でもあった様子でした。グループ別意見交換でも積極的に発言する姿が見られました。
2022 年 1 月 30 日 東京都	【ワークショップ】【報告会】 1. アンケート回答 2. グループ発表 3. 講評 SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏 4. JICE からの案内	秋から来日予定があるグループのリーダーを中心に、積極的な発表が行われました。オンライン上であっても、日本人と関わった経験が各参加者の考えや日本に対する印象に影響を与えた様子でした。

2. 記録写真

	
2021 年 8 月 6 日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子	2021 年 8 月 6 日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子
	
2021 年 8 月 6 日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子	2021 年 8 月 6 日【ウェビナー・質疑応答】集合写真

	
2022 年 1 月 25 日【ウェビナー・質疑応答】講義の様子	2022 年 1 月 26 日【ウェビナー・視察】ライブ中継の様子
	
2022 年 1 月 27 日【ウェビナー・質疑応答】集合写真	2022 年 1 月 29 日【自治体訪問・交流】講義の様子
	
2022 年 1 月 30 日【報告会】プレゼンテーションの様子	2022 年 1 月 30 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ タイ 大学生

与論島における海洋プラスチックゴミの対応についての経験を共有していただきありがとうございます。とても興味深いものでした。私は海洋(沿岸)資源に関わる仕事をしていますが、自国では私も、時間があればビーチに行き、ボランティアでビーチのゴミを収集しています。

◆ ラオス 社会人

ボランティア活動に対しての感謝状やポイント制度等、民間団体だけではなく地方自治体もスポンサーになる取り組みを、是非自国でも実践していきたいです。

◆ タイ 社会人

海洋プラスチック問題の解決に向けた行政（与論島）の取り組みは、同じ課題を抱えている自国においても参考になりました。

◆ ベトナム 社会人

参加者に（プログラムの）録画データも共有されるとよいと思いました。

◆ カンボジア 社会人

（プログラムの内容は）全て私の期待に応えてくれる内容でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 講師

とても良い交流会でした。参加者に事前に講義の内容・情報を共有しておいて、質問を事前に出してもらい、プログラム中に回答することができれば、さらに良い交流の機会になるとと思いました。

◆ 講師

短い期間での準備となりましたが、皆さんや関係者の協力のおかげで無事に行うことが出来ました。ありがとうございました。

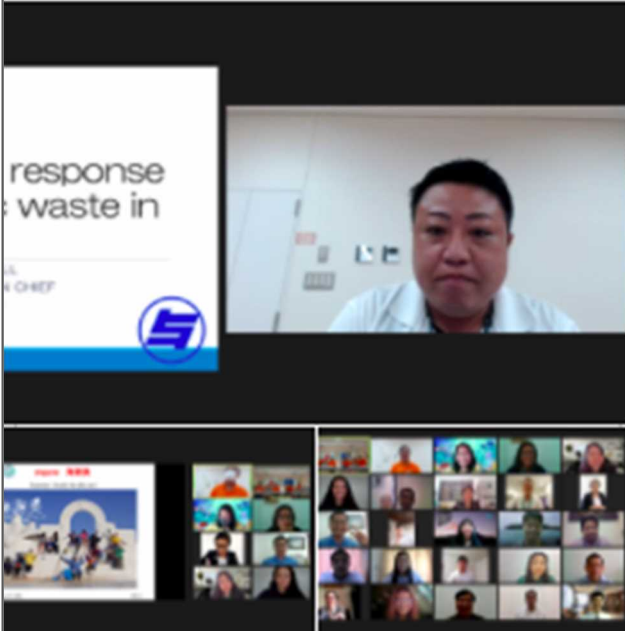
◆ 視察先担当者

新型コロナウイルス感染症の影響で外国との行き来ができない中、国を超えた交流や人材の育成を進めるプランに共感しました。初めての経験でしたが、時間配分や内容を改善してさらにより良い内容にしていきたいと思います。皆さん熱心に聴講して頂き嬉しく思います。

◆ 講師

参加者のみなさんが、積極的で大変良かったです。

5. 参加者の対外発信、報道事例等

6 สิงหาคม 2564 ได้รับโอกาสให้เข้าร่วมโครงการ JENESYS2020 ด้วยสถานการณ์โรคไวรัส Covid-19 จึงได้เข้าร่วมแบบออนไลน์ JENESYS Online Webinar Theme: Plastic Waste Management in the ocean มีประเทศที่เข้าร่วมสัมมนาครั้งนี้ด้วยกัน 4 ประเทศ คือ ไทย ลาว เวียดนาม และกัมพูชา ครั้งนี้ได้รับฟังการจัดการขยะทางทะเลของกลุ่มจิตอาสา Unjami ของ Yoron Island ของประเทศญี่ปุ่น ที่ทุกวันช่วงเช้าจะไปเก็บขยะที่ชายหาด เพื่อให้ชายหาดทั้งเกาะของพวกเขาสะอาด สวยงาม เป็นการรักษาธรรมชาติและสิ่งแวดล้อมเพื่อส่งต่อให้คนรุ่นต่อไป แม้จะเป็นการบรรยายออนไลน์ผ่าน zoom แต่ทุกประเทศที่เข้าฟังก็ได้มีส่วนร่วมในการตอบคำถามจากการชมคลิปวิดีโอ และยังเปิดโอกาสให้แลกเปลี่ยนกันอีกด้วย	6 สิงหาคม 2564 ได้รับโอกาสให้เข้าร่วมโครงการ JENESYS2020 ด้วยสถานการณ์โรคไวรัส Covid-19 จึงได้เข้าร่วมแบบออนไลน์ JENESYS Online Webinar Theme: Plastic Waste Management in the ocean มีประเทศที่เข้าร่วมสัมมนาครั้งนี้ด้วยกัน 4 ประเทศ คือ ไทย ลาว เวียดนาม และกัมพูชา ครั้งนี้ได้รับฟังการจัดการขยะทางทะเลของกลุ่มจิตอาสา Unjami ของ Yoron Island ของประเทศญี่ปุ่น ที่ทุกวันช่วงเช้าจะไปเก็บขยะที่ชายหาด เพื่อให้ชายหาดทั้งเกาะของพวกเขาสะอาด สวยงาม เป็นการรักษาธรรมชาติและสิ่งแวดล้อมเพื่อส่งต่อให้คนรุ่นต่อไป แม้จะเป็นการบรรยายออนไลน์ผ่าน zoom แต่ทุกประเทศที่เข้าฟังก็ได้มีส่วนร่วมในการตอบคำถามจากการชมคลิปวิดีโอ และยังเปิดโอกาสให้แลกเปลี่ยนกันอีกด้วย #JENESYSASEAN 
2021 年 8 月 6 日 (Facebook) JENESYS オンラインウェビナー、テーマ: 海のプラスチック廃棄物管理。タイ、ラオス、ベトナム、カンボジアの 4 か国がこのセミナーに参加しました。 今回は、毎朝浜辺でゴミを集めに行く日本の与論島ボランティアグループの海洋廃棄物管理活動について話を聞きました。島のビーチ全体を清潔で美しく保つことは、将来の世代のための自然と環境保全活動です。 Zoom によるオンライン講義でしたが、参加国は全員、ビデオクリップを見て質問に答え、意見交換をして交流しました。	2021 年 8 月 6 日 (Facebook) JENESYS オンラインウェビナーに参加する素晴らしい機会をいただき、感謝します。今回、環境管理に協力するコミュニティの人々の素晴らしさを見ることができました。次世代のために。

浅草から食の魅力配信

ASEANなど若者に講座

東南アジア諸国連合（ASEAN）地域などの若者に日本の産業などを学んでもらう交流プログラムの一環で26日、台東区浅草から、食の魅力を伝える講座の配信が行われた。浅草商店連合会の西山繁夫理事（62）が講師役を務めた。

プログラムは、コロナ禍で国際的な人の往来ができない中でも、海外の若者に日本のことを知ってもらおうと、一般財団法人日本国際協力センター（新宿区）が企画した。

七日間のプログラムの2日目となるこの日は、ASEAN諸国と東ティモールから、高校生～30代の社会人計約200人がオンラインで参加。浅草にいる西山さんから話を聞いた。

西山さんが浅草神社や浅草寺の縁起、三社祭や仲見世のにぎわいなど浅草の魅力をスライドや映像で紹介。雷門から仲見世を通り、浅草寺境内までを実際に歩く「バーチャルツアー」も実施した。また、浅草に店を構える老舗料理店3店の店主と、受講生とのオンライン交流も行われた。

講座を終えた西山さんは「画面越しだったが、受講生の日本への思いが感じられた」と話した。



バーチャルツアーで仲見世通りや周辺の店舗について説明する西山さん（左）＝台東区浅草で

2022年1月28日（東京新聞）

東南アジア諸国連合（ASEAN）地域などの若者に日本の産業などを学んでもらう交流プログラムの一環で26日、台東区浅草から、食の魅力を伝える講座の配信が行われた。浅草商店連合会の西山繁夫理事（62）が講師役を務めた。

プログラムは、コロナ禍で国際的な人の往来ができない中でも、海外の若者に日本のことを知ってもらおうと、一般財団法人日本国際協力センター（新宿区）が企画した。

7日間のプログラムの2日目となるこの日はASEAN諸国と東ティモールから、高校生～30代の社会人計約200人がオンラインで参加。浅草にいる西山さんから話を聞いた。

西山さんが浅草神社や浅草寺の縁起、三社祭や仲見世のにぎわいなど浅草の魅力をスライドや映像で紹介。雷門から仲見世を通り、浅草寺境内までを実際に歩く「バーチャルツアー」も実施した。また、浅草に店を構える老舗料理店3店の店主と、受講生とのオンライン交流も行われた。講座を終えた西山さんは「画面越しだったが、受講生の日本への思いが感じられた」と話した。

6. 最終報告会でのアクション・プランの発表

	JENESYS メッセンジャーグループチャットを作成し、ターゲットとなる人に日本について、また JENESYS についての情報を共有します。
---	---

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)